

第7次福井県医療計画の進捗状況 (2018～2023年度)

第7次福井県医療計画の進捗状況（がん）

<目標>

- ①がんの年齢調整死亡率（75歳未満）：10%減少
- ②各がん毎の検診受診率：50%
- ③各がん毎の精密検査受診率：90%
- ④成人喫煙率：12%に減少（2022年まで）

<現状>

- ①がんの年齢調整死亡率（75歳未満）

	策定時(H28)	現状(H29)	2021年(目標)
年齢調整死亡率 (人口10万人対)	71.8人	66.1人	63.9人

- ②がん検診受診率

平成29年度がん検診（70歳未満）の実施状況（福井県独自調査）

種別	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
H28受診率(%)	33.5	74.0	48.2	47.3	42.0
H29受診率(%)	37.7	75.1	44.9	41.9	48.4

- ③がん精密検査受診率

平成28年度がん精密検査受診状況（地域保健・健康増進事業報告）

種別	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
H27受診率(%)	81.5	77.4	73.3	78.0	89.9
H28受診率(%)	85.4	74.6	71.9	87.1	93.1

- ④成人喫煙率

平成23年：16.2% → 平成28年 20.9%（県民健康・栄養調査）

第7次福井県医療計画の進捗状況（脳卒中）

①脳梗塞に対するt-PAによる血栓溶解療法適用患者への実施件数 目標：全国平均以上を維持

年度	福井県	全 国
H27年度	89件（11.1件／人口10万人対）	（10.5件／人口10万人対）
H28年度	92件（11.5件／人口10万人対）	12,884件（10.1件／人口10万人対）

②脳梗塞に対する脳血管内治療の実施件数 目標：全国平均以上を維持

年度	福井県	全 国
H27年度	54件（6.7件／人口10万人対）	（6.3件／人口10万人対）
H28年度	56件（7.04件／人口10万人対）	8,989件（7.02件／人口10万人対）

③地域連携クリティカルパス実施医療機関数（H29.11～30.10） 目標：急性期7、回復期18機関

医療圏	急性期病院名（パス発信件数）	回復期病院名（パス受信件数）
福井・坂井	済生会病院（102）、県立病院（124）、福井赤十字病院（161）、福井大学附属病院（121）	大滝病院（54）、嶋田病院（153）、福井厚生病院（29）、福井総合病院（80）、福井リハビリテーション病院（13）、あわら病院（3）、木村病院（1）、春江病院（62）
奥越		福井勝山総合病院（13）
丹南	公立丹南病院（20）	木村病院（67）、高村病院（2）、林病院（9）
嶺南	市立敦賀病院（8）、公立小浜病院（21）	泉ヶ丘病院（19）
計	7箇所	13箇所

④地域連携クリティカルパスの実施医療機関（急性期病院）での適用率 目標：25%以上

医療圏	H27.11～28.10	H28.11～29.10	H29.11～30.10
福井・坂井	29.1%	32.1%	36.1%
奥越	0%	0%	0%
丹南	12.5%	7.7%	10.4%
嶺南	6.0%	5.0%	7.2%
計	23.2%	25.0%	27.9%

第7次福井県医療計画の進捗状況（心筋梗塞等の心血管疾患）

- ①来院から閉塞冠動脈の再灌流（Door to Balloon）までに要した平均時間 目標：90分以内
 ②紹介患者に対する冠疾患・心不全地域連携クリティカルパスの運用率 目標：30%以上

※②については導入初期の心不全パスを含むため、調査方法を見直し予定

（単位 ①：分、②：％）

区分	医療圏	医療機関名	①PCI実施までに要した時間			②紹介患者に対する運用率	
			H127	H128	H130	H130	H130
急性期病院	福井・坂井	済生会病院	71	84	73		
		県立病院	83	85	98		○
		福井循環器病院	48	73	73		
		福井赤十字病院	71	73	79		
		福井総合病院	92	61	75		○
		福井大学附属病院	88	84	82		
	丹南	中村病院	66	53	49		○
	嶺南	市立敦賀病院	86	90	91		
		公立小浜病院	102	85	139		
	平均		78.4	76.4	84.3		

※ ○は目標達成

第7次福井県医療計画の進捗状況（糖尿病）

<目標>

- ①特定健康診査受診率：70%
- ②特定保健指導受診率：45%
- ③尿中アルブミン検査実施件数（人口10万人対）：全国平均以上
- ④70歳未満の糖尿病性腎症による新規透析導入患者数（70歳未満人口10万人対）：減少
- ⑤透析予防指導管理を実施する医療機関数：10力所以上
- ⑥糖尿病連携手帳等を活用して連携している医療機関の割合：40%以上
- ⑦糖尿病に関する専門知識を有する医療従事者数：毎年100人以上取得

<現状>

	計画策定時	現状	備考
①特定健康診査受診率	48.9%(H27)	51.0%(H28)	
②特定保健指導受診率	22.5%(H27)	24.8%(H28)	
③尿中アルブミン検査実施件数 （人口10万人対）	1,321件(H27) （全国平均1,706件）	1,260件(H28) （全国平均1,706件）	
④70歳未満の糖尿病性腎症による 新規透析導入患者数（70歳未満人 口10万人対）	14.9人(H28)	7.4人(H30)	
⑤透析予防指導管理を実施する医 療機関数	8箇所(H29)	10箇所(H30)	嶋田病院、林病院
⑥糖尿病連携手帳等を活用して連 携している医療機関の割合	28.9%(H29)	39.6%(H30)	
⑦糖尿病に関する専門知識を有す る医療従事者数	103人取得(H29)	97人取得(H30)	

第7次福井県医療計画の進捗状況（精神疾患）

<目標>

- ①長期入院患者数（1年以上）：982人
- ②入院後1年時点での退院率：90%以上
- ③退院後3か月時点の再入院率（1年未満入院患者）：20%以下
- ④退院後3か月時点の再入院率（1年以上入院患者）：37%以下
- ⑤認知症サポート医：59人
- ⑥災害派遣精神医療チーム（DPAT）先遣隊の登録数：4チーム

<現状>

	計画策定時	現状
①長期入院患者数（1年以上）	1,195人(H26)	1,062人(H29)
②入院後1年時点での退院率	90%(H26)	92%(H29)
③退院後3か月時点の再入院率(1年未満入院患者)	22%(H26)	22%(H29)
④退院後3か月時点の再入院率(1年以上入院患者)	44%(H26)	62%(H29)
⑤認知症サポート医	43人(H29)	52人(H30)
⑥災害派遣精神医療チーム（DPAT）先遣隊の登録数	2チーム(H29)	4チーム(H30)

第7次福井県医療計画の進捗状況（小児医療）

<目標>

- ①#8000子ども医療電話相談件数：6,000件以上／年
- ②小児救急夜間輪番病院制参加病院の夜間の受診者数：減少
- ③保護者向けの小児救急講習会の開催：17回以上／年
- ④小児死亡率：全国値以下
- ⑤災害時小児周産期リエゾン養成者数：2名／年

<現状>

	計画策定時	現状	備考
①#8000子ども医療電話相談件数	6,592件 (H28年間実績)	7,029件 (H29年間実績)	6,361件 (H30:1月末現在)
②小児救急夜間輪番病院制参加病院の夜間の受診者数	10,007人 (H28年間実績)	9,327人 (H29年間実績)	7,236人 (H30:12月末現在)
③保護者向けの小児救急講習会の開催	12回 (H28年間実績)	18回 (H30年間実績)	
④小児死亡率	25.5 (H28年間実績)	28.0 (H29年間実績)	H28全国値 22.1 H29全国値 21.0
⑤災害時小児周産期リエゾン養成者数	H29 累計3名	H30 2名(累計5名)	

こども急患センター利用環境改善事業

○事業概要

現在のこども急患センターは、福井市休日急患センター（内科）と1階フロアを共用しているが、現施設の2階フロアを改修し小児科専用とするこ
とで、小児患者や保護者の利用環境改善を図る。

①待合室、処置室等の整備

- ・日曜・祝日やインフルエンザ流行期（12月～2月）には特に混雑し、小児患者と内科患者が混在しているため、小児科、内科を分離

②利用者にわかりやすいレイアウトに変更

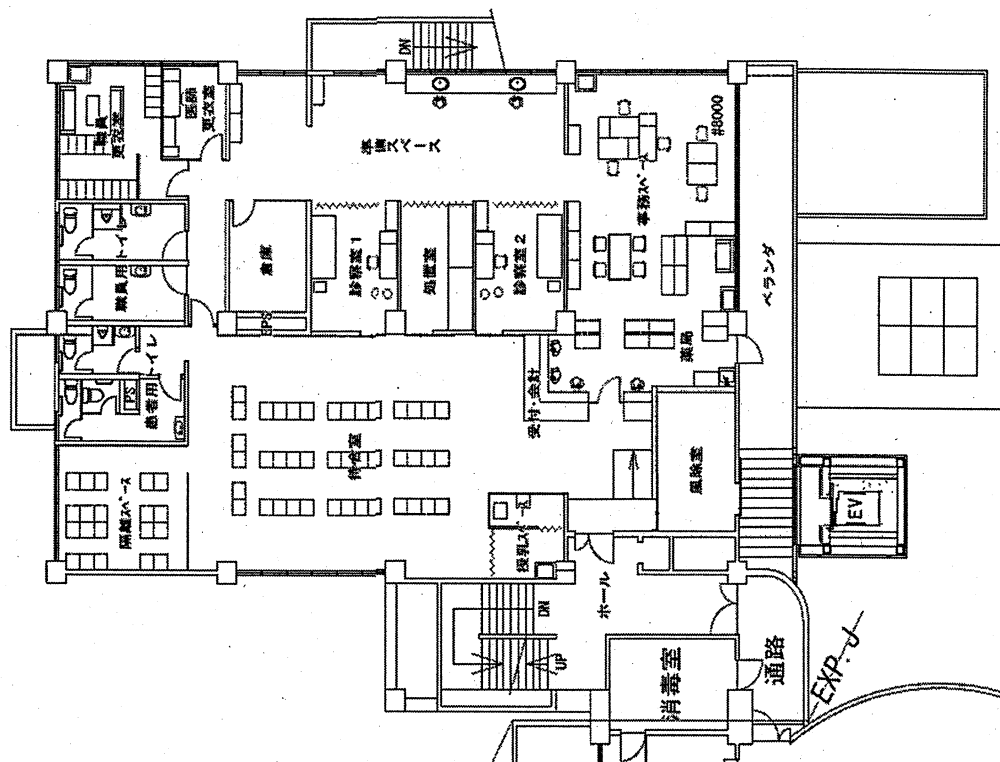
- ・利用者の流れがスムーズになるよう
分かりやすいレイアウトに改善

○改修スケジュール（予定）

H31年	5月～	実施設計業務	（約4ヶ月間）
11月～	改修工事	（約5ヶ月間）	
H32年	4月	運営開始予定	

○改修レイアウト案（調整中）

改修場所：福井市保健センター2階
改修面積：約350㎡



第7次福井県医療計画の進捗状況（産科（周産期）医療）

<目標>

- ①周産期死亡率：4.0以下（出生千対）
- ②新生児死亡率：1.0以下（出生千対）
- ③乳児死亡率：2.0以下（出生千対）
- ④妊婦健診取扱施設での健診率：20%以上
- ⑤災害時小児周産期リエゾン養成者数：2名／年

<現状>

	計画策定時(H28)	現状(H29)	備考
①周産期死亡率（出生千対）	4.2	2.9	妊娠満22週以後の死産＋生後1週未満の死亡
②新生児死亡率（出生千対）	1.3	0.9	生後4週未満の死亡
③乳児死亡率（出生千対）	2.6	1.9	生後1年未満の死亡
④妊婦健診取扱施設での健診率	11.6%	11.4%	市町の第1回の妊婦健診受診者における健診取扱施設（分娩施設除く）での健診率
⑤災害時小児周産期リエゾン養成者数	H29年 累計3名	H30年 2名 (累計5名)	災害時小児周産期リエゾン養成研修受講者数(現在 産婦人科医3名・小児科医2名)

<参考>

年	昭和60	平成2	7	12	17	22	23	24	25	26	27	28	29
周産期死亡率	全国 15.4	11.1	7.0	5.8	4.8	4.2	4.1	4.0	3.7	3.7	3.7	3.6	3.5
	福井県 14.9	9.8	8.0	7.4	4.0	2.9	5.6	4.6	4.3	4.5	4.5	4.2	2.9
新生児死亡率	全国 3.4	2.6	2.2	1.8	1.4	1.1	1.1	1.0	1.0	0.9	0.9	0.9	0.9
	福井県 4.0	3.5	2.5	2.6	1.3	1.2	0.4	1.3	0.9	0.8	0.3	1.3	0.9
乳児死亡率	全国 5.5	4.6	4.3	3.2	2.8	2.3	2.3	2.2	2.1	2.1	1.9	2.0	1.9
	福井県 7.3	4.8	5.3	3.7	2.8	2.2	1.8	2.1	1.9	1.9	1.8	2.6	1.9

第7次福井県医療計画の進捗状況（救急医療）

<目標>

- ①重症以上傷病者の搬送において、医療機関に4回以上受入れの照会を行った割合 目標：1%未満
- ②救急要請から救急医療機関への搬送までに要した平均時間 目標：全国3位以内
- ③心肺機能停止傷病者全搬送人員のうち、一般市民により除細動が実施された件数 目標：全国平均以上
- ④心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例の1ヶ月後の社会復帰率 目標：全国平均以上

<現状>

- ①重症以上傷病者の搬送において、医療機関に4回以上受入れの照会を行った割合

医療機関名	H26		H27		H28	
	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)
重症以上傷病者	18	0.5	7	0.4	5	0.7
					22	
						8

- ②救急要請から救急医療機関への搬送までに要した平均時間

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
本県平均	26.4	28.2	28.9	29.9	30.3	30.1	30.5	31.3	31.6	31.9	32.3
全国平均	33.4	35.0	36.1	37.4	38.1	38.7	39.3	39.4	39.4	39.3	39.3
全国順位	4位	6位	6位	5位	3位	3位	3位	3位	3位	3位	4位

- ③心肺機能停止傷病者全搬送人員のうち、一般市民により除細動が実施された件数
H29実績：1,677件／人口10万人対（全国平均1,666件） ※福井県H28:1,010件

- ④心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例の1ヶ月後の社会復帰率
H29実績：8.2%（8人／98人）（全国平均8.7%） ※福井県H28:13.2%

【京滋ドクターヘリ】

1 現 況

嶺南地域における救急医療体制を強化するため、平成30年9月29日から京滋ドクターヘリの当該地域への運航を開始。昨日までに9件の出動。

2 概 要

①基地病院

恩賜財団済生会滋賀県病院（所在地：滋賀県栗東市）

②運航範囲

滋賀県全域、京都府南部、福井県嶺南地域

③要請方法

キーワード方式による要請（119番覚知時）

救急現場要請（現場判断時）

④離着陸場所

116箇所

⑤搬送先医療機関

市立敦賀病院、敦賀医療センター、公立小浜病院、済生会滋賀県病院等

【岐阜県ドクターヘリ】

1 現 況

大野市和泉地区は救急搬送に1時間以上を要し、救急医療体制の強化が急務であるため、岐阜県ドクターヘリの運航を協議中（今年4月以降運航予定）

2 概 要

①基地病院

岐阜大学医学部附属病院（所在地：岐阜県岐阜市）

②運航範囲

岐阜県全域、大野市和泉地区およびその周辺地域

③要請方法

キーワード方式による要請（119番覚知時）

救急現場要請（現場判断時）

④離着陸場所

11箇所

⑤搬送先医療機関

原則、岐阜県内医療機関

第7次福井県医療計画の進捗状況（災害時医療）

<目標>

- ①DMA Tチーム編成数：25チーム、統括DMA T隊員数：16名
- ②DMA Tインストラクター数：6名、ロジスティックチーム隊員数：6名
- ③DPA T先遣隊編成数：4チーム
- ④災害時小児周産期リエゾン養成者数：2名／年
- ⑤業務継続計画（BCP）策定率：災害拠点病院100%
- ⑥災害医療調整機能を組み入れた訓練・研修の実施：3回／年

<現状>

	計画策定時	現状	備考
①DMA Tチーム編成数 統括DMA T隊員数	H29 23チーム 14名	H30 23チーム 15名	
②DMA Tインストラクター数 ロジスティックチーム隊員数	H29 1名 6名	H30 2名 8名	
③DPA T先遣隊編成数	H29 2チーム	H30 4チーム	福大、三精病院追加
④災害時小児周産期リエゾン養成数	H29 累計3名	H30 2名 (累計5名)	
⑤業務継続計画（BCP）策定率	H29 55.6%	H30 100.0%	
⑥災害医療調整機能を組み入れた 訓練・研修の実施	H29 3回／年	H30 4回／年	<ul style="list-style-type: none"> ・近畿府県合同防災訓練 ・国民保護図上訓練 ・災害医療現場研修 ・災害医療本部研修

第7次福井県医療計画の進捗状況（へき地医療）

- ＜目標＞ ①嶺南地区の巡回診療：継続実施
②へき地拠点病院からへき地診療所への代診医派遣：全ての要請に応じて派遣

＜現状＞ ①公立小浜病院による無医地区等巡回診療実施状況

無医地区名	28年度			29年度			30年度※31.2月末現在		
	回数 (回)	患者数 (人)	1回平均 患者数 (人)	回数 (回)	患者数 (人)	1回平均 患者数 (人)	回数 (回)	患者数 (人)	1回平均 患者数 (人)
若狭町	24	316	13.17	24	344	14.33	22	331	15.05
	4	6	1.50	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小浜市	24	170	7.08	24	154	6.42	22	133	6.05
	24	119	4.96	24	129	5.38	22	107	4.86
	24	78	3.25	24	28	1.17	22	21	0.95
高浜町	6	3	0.50	—	—	—	—	—	—
	24	37	1.54	24	38	1.58	18	32	1.78
計8地区	130	729	5.61	120	693	5.78	106	624	5.89

②へき地診療所への代診医派遣回数（派遣要請への対応率100%）

へき地医療拠点病院名	28年度	29年度	30年度 ※2月末現在
福井県立病院（支援機構）	6	11	15
公立丹南病院	3	7	6
公立小浜病院	2	5	1
福井県済生会病院	3	2	0
計	14	25	22

第7次福井県医療計画の進捗状況（在宅医療）

<目標>

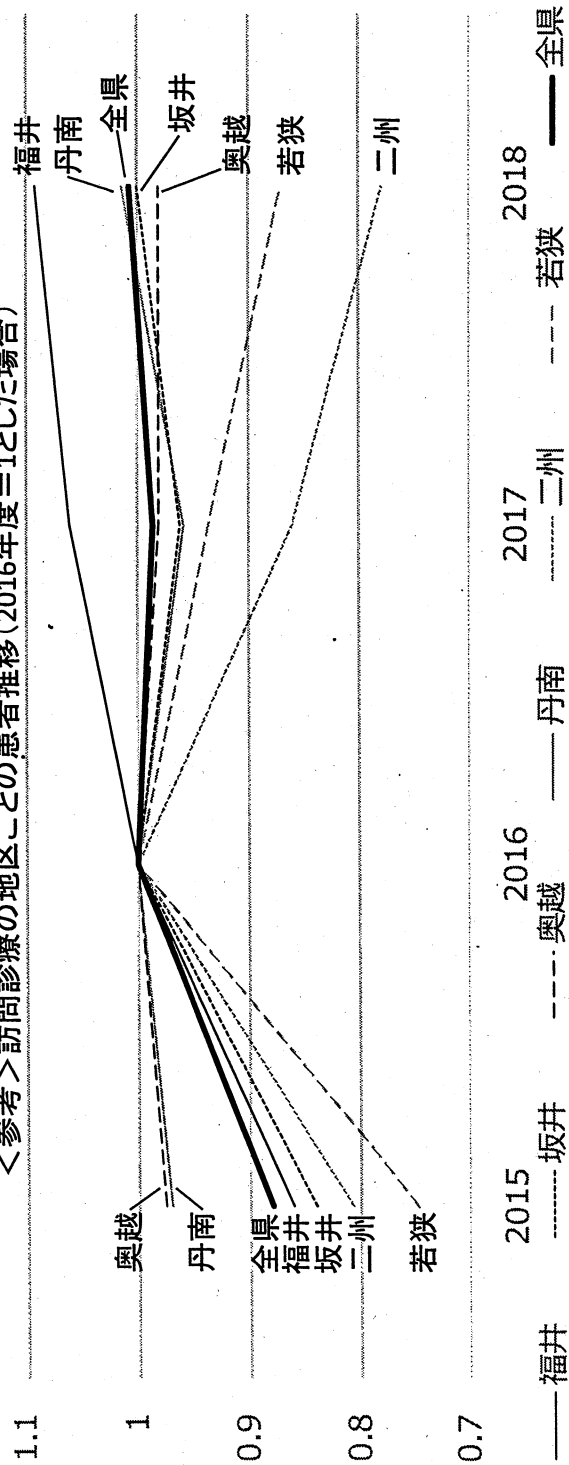
- ①訪問診療を受けた患者数：3,392人/日(2023年)
- ②訪問看護の利用者数：15%増（2016年：5,207人⇒2023年：5,988人）
- ③介護支援連携指導を受けた患者数：15%増（2016年：4,884人⇒2023年：5,617人）
- ④在宅ターミナルケアを受けた患者数：15%増（2016年：295人⇒2023年：339人）

<現状>

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2016比
①	2,638人	2,996人	2,958人	3,019人	100.8%
②	4,801人	5,207人	5,802人	5,820人	111.8%
③	3,677人	4,884人	※（4,284人）	※（4,470人）	91.5%
④	257人	295人	※（384人）	※（436人）	147.8%

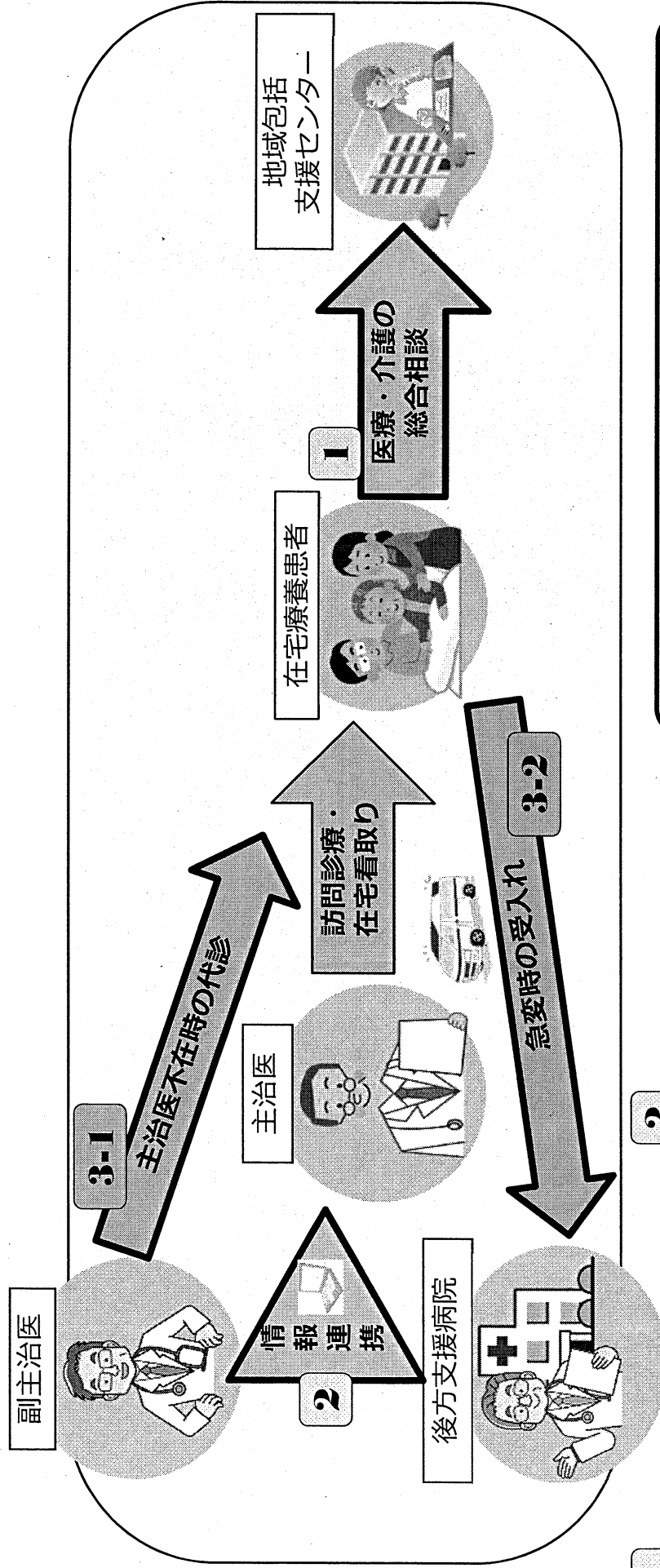
※③④の2015年、2016年はNDBオープンデータの値、2017年はレセプトデータ1か月分を12倍したもの、2018年はレセプトデータ6か月分を2倍したものであり、単純比較できない

<参考>訪問診療の地区ごとの患者推移(2016年度=1とした場合)



県内各地域での在宅医療体制について

○県内の各市町・郡市医師会区域において、「①医療・介護の総合相談窓口の設置」「②在宅ケア関係者間の患者情報等の情報連携」「③医療機関の連携による24時間の在宅医療体制」を運用（H30.4～ 県内全域）



1

医療・介護の総合相談

…在宅に帰ることを希望する患者家族等が介護保険の利用や在宅医療に対応できるかかりつけ医等について相談できる窓口を、地域包括支援センターに設置

2

患者情報等の情報連携

…副主治医や後方支援病院、訪問看護師等が主治医と連携するために、ICT等を用いて情報共有を行う

24時間の在宅医療体制

副主治医による主治医不在時の代診

…主治医が対応できない時に往診する必要があった際に、あらかじめ決めておいた副主治医が代診に行く

後方支援病院による急変時の受け入れ

…患者が急変して在宅医療で対応できない場合に、あらかじめ決めておいた後方支援病院に搬送する（在宅患者用のベッドを確保）

各地域の状況

市町		1 郡市医師会	1 医療・介護の 総合相談	2 情報連携	24時間の在宅医療体制 (3-1 副主治医体制・ 3-2 後方支援病院)	
福井市	永平寺町	福井市医師会 福井第一医師会	各市町の 地域包括 支援センター	ふくいメディカルネット ² 福井県退院支援ルール ³ など	副主治医制…対応 後方支援病院…福井県立病院、福井赤十字病院、 福井県済生会病院など	
勝山市					勝山市医師会	副主治医制…対応 後方支援病院…福井勝山総合病院など
大野市	大野市医師会	後方支援病院…福井勝山総合病院など				
越前町	丹生郡医師会	副主治医体制・後方支援病院…国保織田病院				
鯖江市	鯖江市医師会	副主治医制…対応 後方支援病院…公立丹南病院など				
池田町		副主治医制…対応 後方支援病院…林病院、中村病院など				
越前市	武生医師会	副主治医制…対応 後方支援病院…市立敦賀病院、レイクヒルズ美方病院など				
南越前町		後方支援病院…公立小浜病院、若狭高浜病院など				
敦賀市	敦賀市医師会	小浜医師会				
美浜町	三方郡医師会					
小浜市						
高浜町	小浜医師会					
おおい町						
若狭町 ¹						
あわら市	坂井地区医師会		地域包括 支援センター 在宅ケアネット ⁴	地区内のICTシステム ⁵ ふくいメディカルネット 福井県退院支援ルール など	副主治医制…対応 後方支援病院…地区内全7病院	
坂井市						

- 1) 若狭町のうち旧三方町は三方郡医師会の区域
- 2) 県全域を対象とした医療情報共有システム（介護関係者と情報共有を行う在宅ケア機能あり）
- 3) 県全域を対象とした入院時の病院・ケアマネジャー間の情報共有のルール
- 4) 坂井地区医師会が運営する、かかりつけ医の紹介をはじめとした相談等を行う取り組み
- 5) 東京大学高齢社会総合研究機構が開発に携わっている医療介護情報共有クラウドサービス（サービス名TRITRUS）